

月報

## 神戸市感染症情報

〈報告〉2017(平成 29)年感染症患者発生状況  
神戸市における感染症の動向

21 巻 2 号 (No. 232)

2018 年 2 月発行

神戸市感染症情報対策委員会

事務局 神戸市保健所予防衛生課

〒650-8570 神戸市中央区加納町 6-5-1

Tel:078(322)6789 Fax:078(322)6763

## 〈報告〉2017(平成 29)年感染症患者発生状況

## 2017 年の届出・報告疾患の特徴

## 1. 全数把握対象疾患

一類感染症:届出はなかった。

二類感染症:結核は 418 例の届出があった。

新登録患者は前年よりも増加したが、大局的に見ると緩やかに減少している。

年齢別に見ると、20 歳代の届出が増加しており、うち外国出生例が半数以上を占めている。

また、80 歳以上の罹患率が著しく高い状態が続いている。

潜在性結核感染症のうち接触者健診発見の割合は減少傾向で、免疫抑制剤等投与に伴う治療の他、コッホ現象による治療もみられた。

三類感染症:腸管出血性大腸菌感染症 36 例のうち 2 例は HUS 発症、10 例が無症状で接触者検便や職場の定期検便で探知された。血清型は、O157 の症例が 26 例と一番多く、12 例は、昨年 8 月、関東の惣菜店が原因で流行した株と同じ、VT2 産生株であったが、現時点で、惣菜店が原因と推定される事例はない。また、細菌性赤痢 2 例、腸チフスが 2 例で、いずれも海外渡航歴があった。

四類感染症:レジオネラ症は 16 例(うち、肺炎型 15 例)の届出があった。デング熱 4 例は 2016 年同様すべて海外渡航例(タイ・インド・フィリピン)であった。また、マラリアは、2 例の報告があり、いずれも海外渡航例(カメルーン・タンザニア)であった。

五類感染症:劇症型溶血性レンサ球菌 14

例、侵襲性インフルエンザ菌感染症 9 例(全て予防接種歴なし)、侵襲性肺炎球菌感染症 66 例(うち予防接種歴あり 20 例)、梅毒 65 例はいずれも過去最多であった。近年、国内の梅毒患者が急増しており、特に 20 代の女性患者の増加が顕著であるため先天梅毒の増加が懸念される。神戸市では、男性は、20 代が 20 例と一番多く、女性では、20 代、30 代がそれぞれ 7 例で一番多かった。

風しん 1 例(検査診断例)、侵襲性髄膜炎菌感染症 1 例(血清群 C 群)の届出があり、接触者への対策を行った。臨床診断による麻しん疑いの届出が、13 例あったが、PCR 法による検査で全て陰性となり、届出を取下げた。

## 2. 定点把握対象疾患【表 1~4 参照】

## (1) インフルエンザ定点(48 カ所)

2016/17 シーズンは、11 月下旬に流行入りした。前シーズンと比較すると 1 ヶ月早い流行入りとなったが、患者数の増加が緩やかであったため、例年とほぼ同様の患者数となった。2017 年第 5 週(1/30~2/5)には定点あたり患者数が 36.3 人となり、流行のピークを迎えた。

環境保健研究所の病原体検出情報では、A 型インフルエンザ(H1pdm09 亜型および H3 亜型)や B 型インフルエンザ(山形系統およびビクトリア系統)の 4 種類のウイルスの検出報告があった。流行初期には AH3 亜型が最も多く、2 月以降は B 型(山形系統およびビクトリア系統)の占める割合が徐々に増加

した。なかでも 4 月には、ビクトリア系統が多く検出された。

ワクチンについて、AH1pdm09 亜型および B 型インフルエンザ(山形系統、ビクトリア系統)は、流行株とワクチン製造株との間で抗原性が一致していた。AH3 亜型は、流行株とワクチン製造株の抗原性が一致していなかった。これは、ワクチン製造株が鶏卵での増殖能を獲得する過程において、抗原性の変化を伴う変異を起こしたことに起因している。

(2)小児科定点(31カ所)

夏に手足口病が流行し、6 月下旬から 7 月下旬にかけて、定点あたりの患者数が警報レベル(5 以上)となった。また、年間で 3,169 例の報告があり、過去 5 年で 2 番目に多かった。環境保健研究所による病原体検出では、コクサッキーウイルス A6 型が最も多く、エンテロウイルス 71 型が次いで多く検出された。

例年、冬に流行する RS ウイルス感染症の患者が、8 月上旬から増え始め、第 35 週(8/28~9/3)に定点あたり患者数が 3.2 人となり、流行のピークを迎えた。その後、緩やかに患者数が減少し、冬に大きなピークは見られなかった。なお、年間で 947 例の報告があり、過去 5 年で 1 番多かった。

年間を通して報告のある感染性胃腸炎の

大きな流行はなかった。報告も 8,537 例で過去 5 年で一番少なかった。

(3)眼科定点(10カ所)

急性出血性結膜炎 8 例、流行性角結膜炎 145 例と例年と同程度の報告数であった。夏に流行する流行性角結膜炎が年間を通して見られた。

原因としては、家族内感染など、小さな集団が推定された。

(4)性感染症定点(12カ所)

対象 4 疾患すべて例年と比較してやや多い報告数であった。

(5)基幹定点(3カ所)

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症の報告が増加した。他の疾患については、例年と同程度であった。

(6)疑似症定点(66カ所)

届出はなかった。

本届出は新型インフルエンザ等を想定した原因不明の重症の感染性呼吸器疾患及び感染性皮膚疾患等の発生動向を把握することを目的としている。

<事務局>

表1 インフルエンザ・小児科・眼科定点(週報)患者報告数

	29年	28年	27年	26年	25年	24年
インフルエンザ	10,703	15,642	9,017	13,599	9,692	15,441
RSウイルス感染症	947	606	906	640	643	638
咽頭結膜熱	550	503	606	840	547	488
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2,080	2,132	2,699	1,468	1,076	1,431
感染性胃腸炎	8,637	11,509	11,777	10,961	13,026	14,978
水痘	479	683	775	1,493	1,589	1,756
手足口病	3,169	455	3,569	284	2,254	122
伝染性紅斑	42	426	625	243	55	200
突発性発しん	551	582	662	723	714	773
百日咳	14	16	17	9	2	7
ヘルパンギーナ	841	1,050	670	1,387	797	1,219
流行性耳下腺炎	1,064	2,024	329	420	199	331
合計	29,077	35,628	31,652	32,067	30,594	37,384
急性出血性結膜炎	8	3	9	4	12	12
流行性角結膜炎	145	117	223	172	141	103
合計	153	120	232	176	153	115

表2 基幹定点(週報)患者報告数

	29年	28年	27年	26年	25年	24年
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	15	12	10	11	5	0
無菌性髄膜炎	9	10	19	16	28	6
マイコプラズマ肺炎	18	48	34	1	5	10
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	14	12	29	3	0	
合計	56	82	92	31	38	16

表3 基幹定点(月報)患者報告数

	29年	28年	27年	26年	25年	24年
メチリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	124	59	80	85	84	124
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	32	45	42	47	100	29
薬剤耐性緑膿菌感染症	0	5	0	2	0	0
薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0	0	2	0	0
合計	156	109	122	136	184	153

表4 性感染症(STD)定点患者報告数

	29年	28年	27年	26年	25年	24年
性器クラミジア感染症	265	228	206	243	261	238
性器ヘルペスウイルス感染症	92	78	82	85	98	89
尖圭コンジローマ	61	39	51	48	49	26
淋菌感染症	88	67	76	93	104	106
合計	506	412	415	469	512	459



病原体検出状況報告（病院検査室定点）平成30年

2018.2.16 現在

便（細菌）

菌種名	1月	合計
<i>Aeromonas hydrophila</i>	1	1
<i>Campylobacter jejuni</i>	26	26
<i>Campylobacter jejuni/coli</i>	4	4
<i>Salmonella</i> O4	1	1
<i>Salmonella</i> O8	1	1
<i>Salmonella</i> O9	1	1
<i>Staphylococcus aureus</i>	14	14
<i>Yersinia pseudotuberculosis</i>	1	1
陽性数	49	49
検査件数	515	515

便（ウイルス）

ウイルス名	1月	合計
adenovirus 40/41	1	1
norovirus 群不明	22	22
rotavirus	1	1
陽性数	24	33
検査件数	160	160

便（原虫）

原虫名	1月	合計

穿刺液（胸水、腹水、関節液など）

菌種名	1月	合計
Anaerobes	8	8
<i>Escherichia coli</i>	15	15
<i>Klebsiella pneumoniae</i>	6	6
<i>Mycobacterium</i> spp.	1	1
<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	11	11
<i>Staphylococcus aureus</i>	11	11
<i>Staphylococcus</i> コアグララーゼ陰性	2	2
<i>Streptococcus pneumoniae</i>	1	1
陽性数	55	55
検査件数	333	333

髄液

菌種名	1月	合計
<i>Streptococcus pneumoniae</i>	1	1
陽性数	1	1
検査件数	92	92

咽頭および鼻咽頭からの材料

菌種名	1月	合計
<i>Haemophilus influenzae</i>	68	68
<i>Streptococcus</i> A	9	9
<i>Streptococcus pneumoniae</i>	36	36
陽性数	113	117
検査件数	1199	1199

尿

菌種名	1月	合計
<i>Acinetobacter</i> spp.	3	3
<i>Candida albicans</i>	17	17
<i>Enterobacter</i> spp.	23	23
<i>Enterococcus</i> spp.	161	161
<i>Escherichia coli</i>	368	368
<i>Klebsiella pneumoniae</i>	75	75
<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	41	41
<i>Staphylococcus aureus</i>	40	40
<i>Staphylococcus</i> コアグララーゼ陰性	67	67
陽性数	795	795
検査件数	1704	1704

血液

菌種名	1月	合計
Anaerobes	11	11
<i>Escherichia coli</i>	68	68
<i>Haemophilus influenzae</i>	5	5
<i>Listeria monocytogenes</i>	1	1
<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	6	6
<i>Salmonella</i> spp.	1	1
<i>Staphylococcus aureus</i>	46	46
<i>Staphylococcus</i> コアグララーゼ陰性	79	79
<i>Streptococcus</i> B	3	3
<i>Streptococcus pneumoniae</i>	11	11
陽性数	231	231
検査件数	3868	3868

喀痰、気管吸引液および下気道からの材料

菌種名	1月	合計
<i>Haemophilus influenzae</i>	75	75
<i>Klebsiella pneumoniae</i>	77	77
<i>Mycobacterium tuberculosis</i>	2	2
<i>Mycoplasma pneumoniae</i>	4	4
<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	123	123
<i>Staphylococcus aureus</i>	210	210
<i>Streptococcus</i> A	1	1
<i>Streptococcus</i> B	4	4
<i>Streptococcus pneumoniae</i>	73	73
陽性数	569	569
検査件数	1818	1818

尿道または子宮頸管擦過（分泌物）

菌種名	1月	合計
<i>Candida albicans</i>	31	31
<i>Chlamydia trachomatis</i>	3	3
<i>Streptococcus</i> B	49	49
陽性数	83	83
検査件数	416	416

検出された *S. aureus* の内訳

	菌種名	1月	合計
便	MRSA	10	10
	MSSA	4	4
	メチシリン未検査	0	0
	合計	14	14
穿刺	<i>S. aureus</i>	14	14
	MRSA	4	4
	MSSA	7	7
	メチシリン未検査	0	0
髄液	合計	11	11
	<i>S. aureus</i>	11	11
	MRSA	0	0
	MSSA	0	0
尿	メチシリン未検査	0	0
	合計	0	0
	<i>S. aureus</i>	0	0
	MRSA	15	15
血液	MSSA	25	25
	メチシリン未検査	0	0
	合計	40	40
	<i>S. aureus</i>	40	40
喀痰	MRSA	22	22
	MSSA	24	24
	メチシリン未検査	0	0
	合計	46	46
合計	<i>S. aureus</i>	46	46
	MRSA	108	108
	MSSA	102	102
	メチシリン未検査	0	0
合計	合計	210	210
	<i>S. aureus</i>	210	210
	MRSA	159	159
	MSSA	162	162
合計	メチシリン未検査	0	0
	合計	321	321

病原体検出状況報告（検診機関）平成30年

便（細菌）

菌種名	1月	合計
<i>Salmonella</i> O4	3	3
<i>Salmonella</i> O7	1	1
<i>Salmonella</i> O8	2	2
陽性数	6	6
検査件数	5749	5749

便（ウイルス）

ウイルス名	1月	合計
検査件数	56	56

病原体検出状況報告

2018/2/20現在

ウイルス分離・検出状況(定点)

ウイルス名	1月	合計
A型インフルエンザ(H1pdm09亜型)	17	17
A型インフルエンザ(H3亜型)	15	15
B型インフルエンザ(山形系統)	30	30
RS	1	1
ノロ	9	9
アデノ1型	1	1
アデノ2型	1	1
陽性検体数	74	74
検体数	87	87

下痢原因菌検出状況

菌種名	検査室	1月	小計	合計
<i>Bacillus cereus</i>	環保研	1	1	1
	中央市病		0	
<i>Campylobacter jejuni</i>	環保研		0	7
	中央市病	7	7	
<i>Clostridium perfringens</i>	環保研	5	5	5
	中央市病		0	
<i>Salmonella</i> O4	環保研	1	1	1
	中央市病		0	
<i>Staphylococcus aureus</i>	環保研	3	3	3
	中央市病		0	
<i>Vibrio cholerae</i>	環保研		0	1
	中央市病	1	1	
検出菌総数	環保研	10	10	18
	中央市病	8	8	
検査検体数	環保研	25	25	84
	中央市病	59	59	

環保研 : 神戸市環境保健研究所(食中毒関連検査等)  
 中央市病: 神戸市中央市民病院(外来患者検査等)

A群溶連菌(定点)

T型別	1月	合計
	1	0
	2	0
	3	0
	4	0
	6	0
	8	0
	9	0
	11	0
	12	0
	13	0
	18	0
	22	0
	23	0
	25	1
	28	0
	5/27/44	0
	14/49	0
	B3264	0
	imp.19	0
	UT	0
陽性数	1	1
検査検体数	1	1

STD定点

	1月	合計
淋菌	耐性菌(PCG)	1
	低感受性菌(CFIX)	1
	陽性数	2
検査検体数	2	2
<i>Chlamydia trachomatis</i>	陽性数	0
	検査検体数	2
<i>U.urealyticum</i>	陽性数	0
	検査検体数	2

# 神戸市感染症発生動向調査月報

2018年1月受診の患者数報告

総報告定点数 12ヶ所  
総設置定点数 12ヶ所

神戸市感染症情報センター

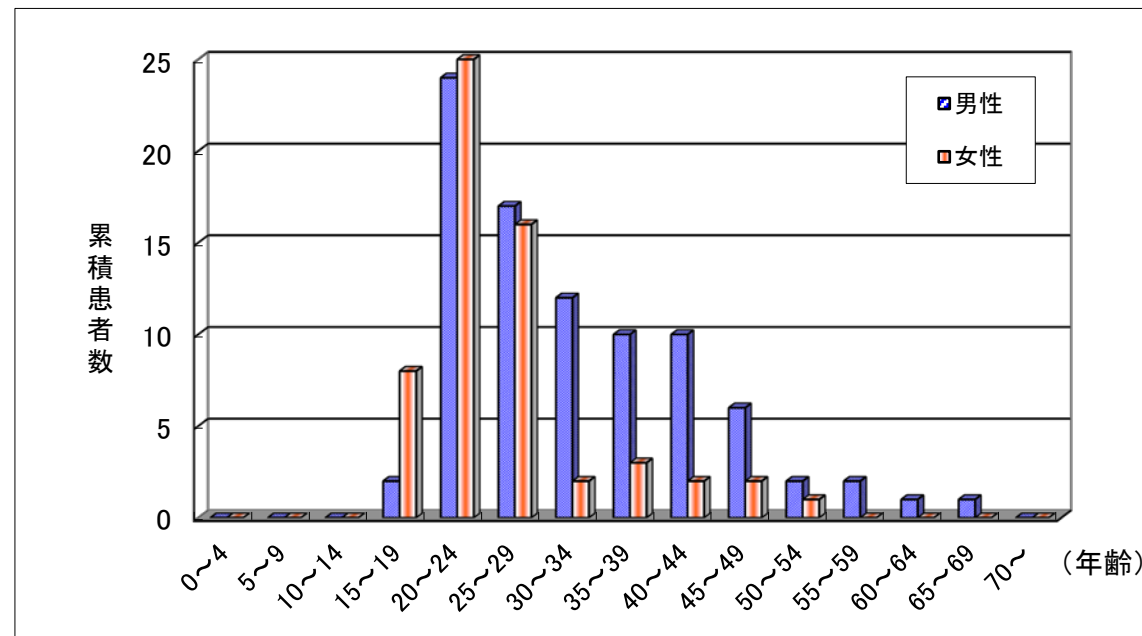
STD定点情報（1月患者）		患者年齢層															
病名	性	0~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70~	合計
性器クラミジア感染症	男				1	3	6	1	1	3			1		1		17
	女				1	6	3		1	1	1						13
性器ヘルペスウイルス感染症	男																
	女				1		1	1		2							6
尖圭コンジローマ	男						1		1								2
	女																
淋菌感染症	男					3	2	1		2							8
	女																

<その他の感染症情報>

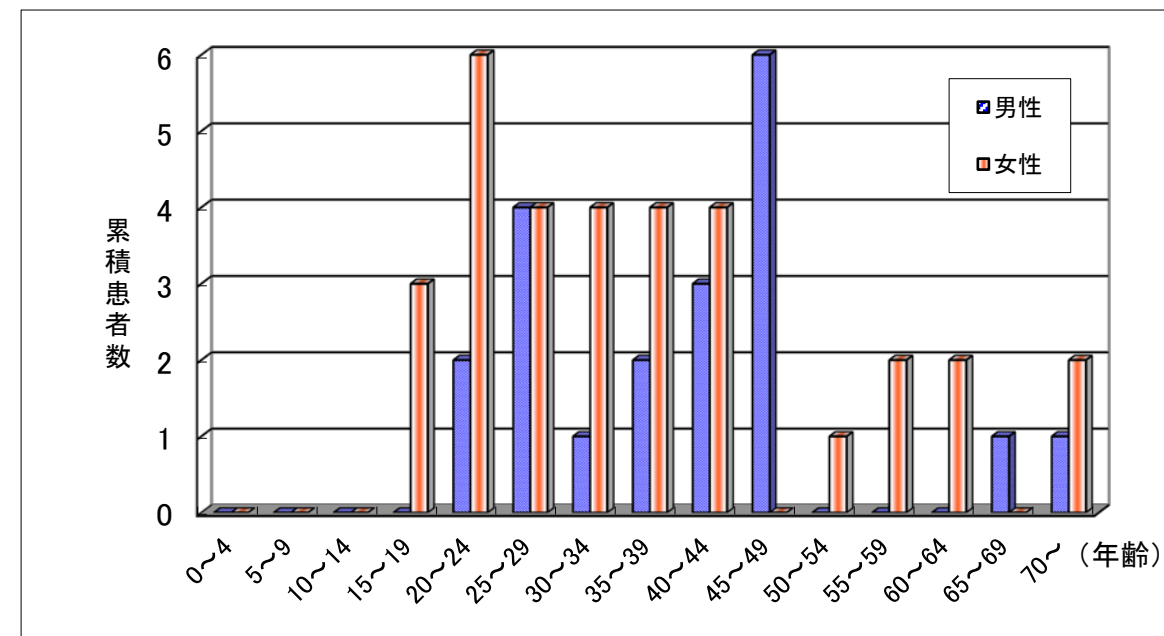
トリコモナス膣炎5例：20~24歳 女、25~29歳 女、30~34歳 女、40~44歳 女、50~54歳 女

直近6か月間の累積患者報告数（2017年7月~2017年12月）

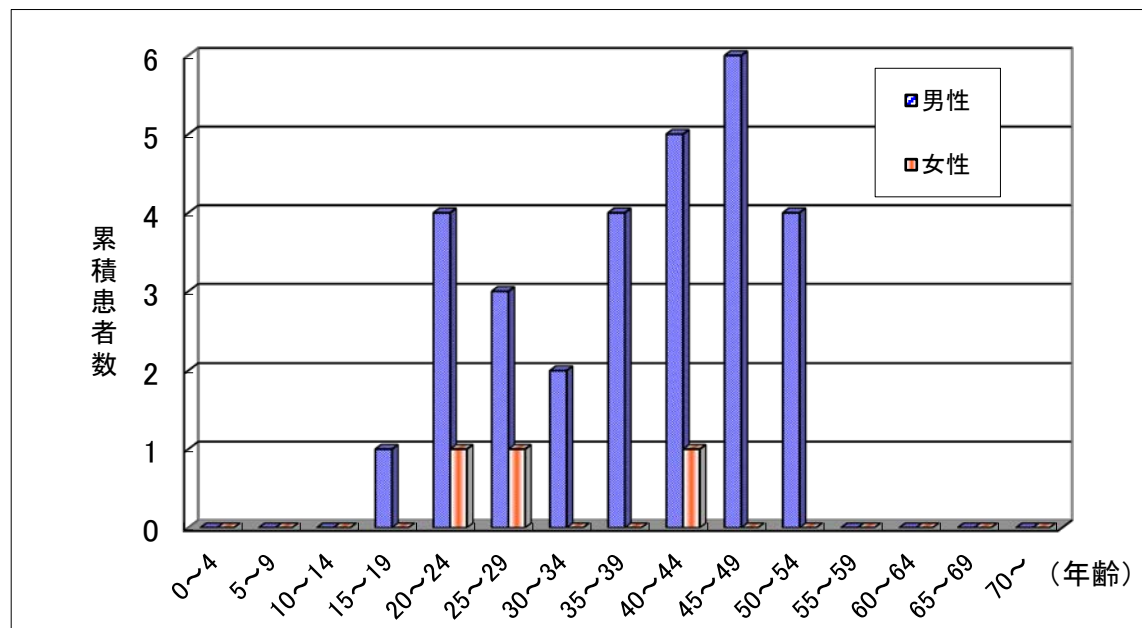
1. 性器クラミジア感染症



2. 性器ヘルペスウイルス感染症



3. 尖圭コンジローマ



4. 淋菌感染症

